

講義概要

女性大学

— 令和6年度 第2期 えるのす連続講座 —

10/1
(火)

観光で、北海道の未来を拓く

北海道科学大学地域共育センター
副センター長 木本 晃

北海道を、「ここにいる時の自分が一番好きだと思える場所」にしたいと考えます。「ありがとう」という言葉が自然と口に出る。観光でそういう「まち」をつくれます。

10/8
(火)

西洋近代美術の楽しみ方

札幌大谷大学芸術学部
教授 下濱 晶子

フランスのモネら印象派の絵画、描かれたファッション、当時流行したジャポニスム（日本趣味）など、さまざまな視点から、西洋の近代美術の楽しみ方を解説いたします。

10/15
(火)

江戸怪談のヒロインたち —お菊さんとお岩さん—

藤女子大学文学部
教授 山本 綴子

皿屋敷と四谷怪談。現代でも有名なこれらの話は、江戸時代から盛んに語られ始め、多くの類話を生み出しました。季節外れの怪談を楽しみつつ、江戸怪談の特徴について考えましょう。

10/22
(火)

半導体とはなにか —現代の魔法—

北海道大学半導体拠点形成推進本部総長補佐
量子集積エレクトロニクス研究センター
教授 葛西 誠也

いま、国家プロジェクトとして北海道に工場をつくり実現しようとしている半導体とはなにか、半導体は私たちの生活や北海道に何をもたらすのか、お話しします。

10/29
(火)

知里幸恵の思いを継いで

知里幸恵 銀のしずく記念館
館長 木原 仁美

先祖から伝わる美しい言葉を残すために命を懸け、19歳の若さで夭折した知里幸恵。その思いを伝えていきたい。知里幸恵とアイヌ文化の伝承活動についてお話しします。

11/5
(火)

人口減少戦略 —少子化対策と働き方改革・職場改善—

北海道総合研究調査会
理事長 五十嵐 智嘉子

人口減少の主要因は少子化の進行です。少子化は未婚率の向上や初婚年齢の上昇が原因となっていますが、さらに背景には、目に見えない社会規範がひそんでいることを理解します。

11/12
(火)

陰陽道とはどんなものか？ —平安朝貴族の日記から探るその実態—

藤女子大学文学部
教授 名畑 嘉則

フィクションの世界では「超能力者」のごとく描かれる陰陽師ですが、その実際の活動はどのようなものだったのか。平安貴族の日記の記録などをもとに探ってみましょう。

11/19
(火)

人生100年時代の「食と未病対策」 —認知症予防に向けた食生活を事例に—

北海道情報大学医療情報学部
教授 本間 直幸

健康と病気の間を「未病（みびょう）」といいます。より健康に近い段階では食は健康の維持や回復に役立ちます。本講座では「認知症予防」の視点から食による未病対策について解説します。

11/26
(火)

大統領選挙からみるアメリカ

北海道大学公共政策大学院
准教授 小浜 祥子

11月5日にアメリカ大統領選挙が実施されます。選挙結果をみながら、分断のすすむアメリカの社会や今後のアメリカ政治の行方について考えてみましょう。

12/3
(火)

現在（いま）を知る

北海道新聞社 論説委員室

政治、経済、社会、生活、文化、国際報道など、世の中の動きや出来事を読み解き、考えます。